

平成 29 年度補正予算
「生産性革命に向けた革新的技術開発事業」において
追加公募する研究課題の内容と目標

平成 30 年4月

農林水産省

(1) レーザーセンシング技術等を活用した森林路網作設支援システムの開発

① 具体的内容

熟練者でなくても的確な路網の施工を可能とするとともに、開設コストを低減して路網整備の一層の推進を図るため、レーザーセンシングやICT技術等を活用し、森林路網作設作業時に機械オペレーターに対し掘削位置等を指し示してくれる作設支援システムを開発する。

② 達成目標

平成 32 年度までに、森林路網の設計・開設・測量等に係る労働生産性(開設路線長を投入労働力で割った値(単位:m/人日))が1割以上向上する技術を開発する。

③ 3年間合計委託限度額

116 百万円

④ 留意事項

- ・公募要領で定めているコンソーシアムへの参画を要件とする生産者について、当課題においては林業を営む法人又は林業を受託して実施する事を主な営利業務としている法人とする。
- ・公募要領で定めているコンソーシアムへの参画を要件とする市販化を担当する民間企業等について、当課題においては、路網作設支援システムの民間企業等とする。
- ・機械の開発については、利用者の安全性を配慮した仕様とすること。
- ・本課題においては路網設計手法の開発は行わず、既存の技術を活用すること。ただし、既存の路網設計手法を路網作設支援システムに適用する技術開発については本課題に含むものとする。